

ロシアで反戦デモ 1800人超拘束

ロシアが開始した隣国ウクライナへの軍事侵攻に対し、ロシア国内でも反戦を訴える声が上がっている。モスクワの人権団体によると、この日だけで全国約60都市で市民の抗議活動や集会が開かれた。政権は反戦

や反政権の機運が拡大することを警戒しており、締め付けを強めている。

モスクワでは、SNSでの呼びかけに応じた、1千人を超えると思われる市民が市中心部の広場に集合。治安部隊が次々と参加者を



ロシアのサンクトペテルブルクで24日、デモ参加者を拘束する警察官ら。サンクトペテルブルクとモスクワでは同日、数百人がウクライナ侵攻に反対するデモに参加した＝AP

拘束していくなか、「戦争反対」と声を上げた。人権団体OVDインフォによると、この日は全国約60都市で1800人以上が当局に拘束された。集会に参加した自営業のザハロフ・ロシーニさん(41)は「こんな戦争の参加国になってしまい、ロシア人であることが、ただただ恥ずかしい」と声を絞り出すように語った。

戦争に反対する声は国内の歌手、俳優、作家などの著名人からも相次いでいる。昨年のノーベル平和賞を受賞したリベラル紙「ノーバヤ・ガゼータ」のムラトフ編集長はユーチューブに動画を投稿し、「我々の国は、プーチン大統領の命令でウクライナと戦争を始めた。私は悲しむと共に、恥じている。ロシア人による反戦運動だけが、この惑星の命を救うことができる」と訴えた。(モスクワ＝石橋亮介)